

日本保健医療行動科学会・近畿支部 NEWS LETTER

Kinki Branch, The Japan Academy for Health Behavioral Science

2010年3月26日 No.80

日本保健医療行動科学会・近畿支部事務局

〒651-2103 神戸市西区学園西町3-4

神戸市看護大学吉岡研究室

Email: yoshioka@tr.kobe-ccn.ac.jp

Tel&Fax: 078-794-8074

第119回近畿支部研究会を以下のように行います。何かとご多忙のことかと存じますが、万障お繰り合わせの上、是非ご参加いただきますようお願い申し上げます。近畿支部研究会は、参加申し込みの必要はなく、どなたでも参加していただけます。皆様お誘い合わせの上、是非ご参加ください。

第119回近畿支部研究会

日時: 2010年4月10日(土) 14:30 ~ 17:30

講師: 後藤 励 氏 (甲南大学経済学部)

話題: 最近の健康行動経済学の動向

会場: 甲南大学10号館6階人間表現実習室(神戸市東灘区岡本8-9-1)

アクセス: 阪急岡本駅, JR摂津本山駅から徒歩10分

詳細は甲南大学HP (<http://www.konan-u.ac.jp/access/index.html>) をご参照下さい。

参加費: 500円(会員・学生・会員外とも)(予約なしでどなたでも参加できます。)

【概要】健康に関わる様々な行動について、従来の経済学では主に合理的選択理論に立脚した分析が行われてきた。しかし近年では、完全に合理的ではない人間行動の限定合理性に注目した、行動経済学や経済心理学といった分野の研究が盛んになっている。本報告では、健康の分野での行動経済学・経済心理学の研究成果や政策への応用例などを概説し、報告者らが行った日本での研究結果を紹介する。(後藤)

《通信》第118回近畿支部研究会は、日本保健医療行動科学会、滋賀医科大学附属図書館、当近畿支部との共催というかたちで、中川米造追悼記念シンポジウム「医療の原点を振り返る～癒しの医学～」と題して、滋賀医科大学で開催されました。

中川米造氏は大阪大学医学部教授を長く務められ、退職後は滋賀医科大学の教授も務められました。中川氏は「医学概論」を確立され、臓器移植や森永ひ素ミルク事件等、医療に関わる社会問題への発言も多く、医学教育・医学史・医学哲学・医療人類学・医療社会学について多数の著作を残され、それらの著作や講演等をとおして、多くの医療関係者あるいは市民が影響を受けています。また、本学会の創設にあたり中心的な役割を果たし初代会長に就任され、逝去されるまで会長として多大な功績を残されました。特に当近畿支部にとりましては、かけがえのない存在でした。著名であり、多忙でありながらも、必ず少人数の当支部研究会を行い、博識で、親しみ深く、誰からも愛される存在で、研究者や医療関係者のみならず、一般の市民や患者でも気軽に参加できるような雰囲気を出されていたように思います。晩年は、湯川秀樹博士をはじめとする学界の著名人、政財界の著名人らにより設立された(社)生命科学振興会の理事長(1993年～)を務められ、その理念である「生命の尊厳、人間・社会・自然の調和、生命を育む科学の創造」のためにも尽力されました。その関係で、当近畿支部研究会も、しばしば生命科学振興会の本部(大阪府高槻市)で行われていたことを思い出します。

昨年(2009年)は中川米造氏の十三回忌にあたり、シンポジウムでは、中川氏に縁のあった方々をシンポジストに招き、中川氏の功績、発言や思い、生きざまを、参加者とともに振り返りました。シンポジウムは中川米造回顧著作展(滋賀医科大学附属図書館主催)の開催時期に合わせて開催されましたが、シンポジウムの参加者には、滋賀医科大学図書館発行の記念誌「資料展示会『医の倫理』の先駆者 中川米造回顧著作展 “医”とは何かを問い続けて」が配布されたました。また、シンポジウムに関する記念誌も滋賀医科大学図書館より発行される予定とのことです。

シンポジウムの詳しい内容は、以下の日本保健医療行動科学会ニューズレター第70号(2009年11月20日発行)に掲載された記事(シンポジウム実行委員長:中川晶氏による)をご覧ください。(吉岡)

中川米造追悼記念シンポジウム報告 中川 晶（大阪産業大学）

平成 21 年 11 月 7 日(土)、滋賀医科大学臨床講義室 3 において『医療の原点を振り返る～癒しの医学～』と題するシンポジウムが行われた。当日は中川米造に縁の深い医療関係者・専門家・一般の方合わせておよそ 80 名の参加となった。最初に本学会会長谷口文章先生からの開会の挨拶として、中川の事は、医学哲学・医療倫理・医療人類学・医療社会学・医史学、医学教育など広い領域にわたるものであり、基本的なスタンスはいつも、あるべき医療の追求であったという内容。次に中川を偲ぶ生前のビデオが上映され、これに続いて座談会となった。まず滋賀医科大学名誉教授友吉唯夫先生より中川が滋賀医大に在籍した頃の思い出話などが披露された。本学会理事の谷莊吉先生からは現在も続く全国の医療系学生が集う『全人医療を考える会』や本学会の黎明期中川の活躍の様子が語られた。同じく本学会理事の柳井勉先生からは、中川が非常に広い分野の人々と交流があり、早い時期から医療を広い視野で考えていたという思い出が語られた。

座談会の後、休憩時間にはフィーリングアーツ研究会の北村義博氏らによる「癒しの芸術」が披露された。第二部は中川米造に教えを受けたり影響を受けた三人の先生方によるシンポジウムが行われた。浜松十字の園診療所所長の後藤幸一先生は大阪大学で中川の医学概論の授業を直接受けられた医師で、現在ターミナルケア活動に従事しておられる。後藤先生からは医学概論教室の黎明期の様子がユーモア豊かに語られた。佐久総合病院小海診療所所長の長純一先生からは、中川が癌に倒れながらも懸命に今後の医療のためにテレビに出演したり、医療系学生に向けての講義をしていた様子が語られた。最後のシンポジスト岐阜情報科学芸術大学院大学教授の小林昌廣先生は阪大・中川研究室出身で医学と芸術の関係を長年研究されている。小林先生は中川の医療哲学の初期の著作『医学の弁明』を中心に研究活動をまとめられた。

(日本保健医療行動科学会ニューズレター第 70 号より)

第 25 回日本保健医療行動科学会学術大会(大会長:岡 美智代)が、「心と身体に効く支援技術と理論の統合」をテーマとして、2010 年 6 月 12 日(土)・13 日(日)の両日に、群馬県前橋市(前橋プラザ 元気 21)で開催されます。近畿支部関係の皆さまの積極的なご参加をお願いいたします。第 25 回大会のプログラム等の詳細は、本学会ホームページ(<http://jahbs.info/>)をご参照ください。

一般演題登録期限:2010 年 3 月 31 日(水)

一般演題抄録提出期限:2010 年 4 月 11 日(日)

参加事前申込期限:2010 年 4 月 30 日(金)

【おねがい】 日ごろ e メールをご利用の皆様には「e メール配信」のご理解とご協力をお願い申し上げます。もちろん日ごろ e メールを利用されていない方や諸事情で「e メール配信」を希望されない方には従前どおり郵送させていただきます。「e メール配信」にご協力いただける場合は、下記のように事務局まで e メールにてお知らせください。なお、ニューズレターは、添付ファイルではなくテキスト形式で、また、宛先のメールアドレスがわからないように BCC (Blind Carbon Copy)として配信されます。なお、e メール配信の場合でも郵送用のニューズレター(PDF ファイル)を下記からダウンロードして印刷できるようにしています。

近畿支部ニューズレター No.80 : <http://jahbs.info/kb/KBJAHBS-NL80.pdf>

宛先: yoshioka@tr.kobe-ccn.ac.jp , 件名:近畿支部 e メール配信希望, 内容:お名前と e メールアドレス

近畿支部ニューズレターは、日本保健医療行動科学会近畿地区在住現会員、旧会員、過去に近畿支部研究会に参加していただいた方々等に送付しています。連絡先等に変更のある方、あるいは今後の送付を希望されない方は、その旨、近畿支部事務局(本ニューズレターの冒頭参照)までお知らせください。なお、学会への入会、現会員の方の異動・退会等は下記の本部事務局へお知らせください。

【日本保健医療行動科学会事務局】 〒 272-0021 千葉県市川市八幡 2-6-18-501

Tel: (047)332-0726 Fax: (047)332-5631 Email: info@jahbs.info

学会ホームページ <http://jahbs.info/>